

令和5年度

兵庫JRAT×淡路圏域地域リハビリテーション支援センター 共催

災害リハビリ管理者研修

近い将来、発生すると予測されている「南海トラフ地震」では、淡路島も地震と津波により大きな被害を受けると予想されます。被災直後、島外からの緊急的な支援は難しくなる可能性があり、淡路島(3市)全体での垣根を超えた支援が必要と考えられます。

今回はJRAT支援のもと、リハビリ専門職として被災時に必要な支援や体制、流れはどのようなものを学び、管理者の視点も踏まえ淡路島全体でお互いがどのように協力・支援できるかを考える機会としたいと思います。

日時 2024年3月17日(日) 10:00～16:00

【午前の部】webと会場のハイブリッド開催

10:00 災害リハビリテーション概論

11:00 CSCATTT、クロノロジー、BCPについて

【午後の部】会場参加者のみ開催

13:00 REHAG (グループワーク)

15:30 淡路圏域ミーティング (島内施設者のみ)

場所 【会場】 関西総合リハビリテーション専門学校 講堂
【web】 Zoom

対象 リハビリ職がいる施設の管理職役職者、
災害リハビリの内容に興味のある方など

定員 【現地会場】 40名 【web】 Zoom 100名

参加費
無料

申し込み 下記のURL または QRコードからお申込みください

<https://ssl.formman.com/t/HiPF/>

締め切り：2024年3月9日(土)まで



問い合わせ

淡路圏域地域リハビリテーション支援センター事務局
(社会医療法人社団 順心会 順心淡路病院内)
担当：中尾、廣岡

【JRAT】とは？



JRAT（一般社団法人 日本災害リハビリテーション支援協会）は東日本大震災をきっかけに発足しました。関東・東北豪雨災害、熊本地震をはじめとして、災害のフェーズに合わせたリハビリテーション支援を実施しています。



協会HP

令和4年度兵庫県・播磨広域防災訓練の様子

【REHUG】とは？

リハビリテーション（Rehabilitation）本部（Honbu）
運営（Unei）ゲーム（Game）

Re「再び、何度も」、HUG「抱きしめる」という意味から、避難所や仮設住宅の要配慮者を何度も支援するというイメージで名付けている。ゲーム参加者が活動本部と調整本部、それぞれの本部で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験するシミュレーションゲームとなる。



災害時の本部運営に携わる活動本部長、調整本部長、ロジスティックス等の役割を通して、支援チームの受け入れ、派遣、福祉用具の貸与、記録等に対応するといった基本的な本部活動の運営を理解することに加えて、時間経過とともに刻々と変化する状況に臨機応変に対応する能力も学ぶことができる。